目 次

0 歴史		1,7.3.12,3	80 82
) 歴史		后棋区间	02
統計・確率の歴史	2		
	_	3 ノンパラメトリック検定と頑健手	法
1 確率分布		13 3 1000	86
		並べかえ検定	88
確 率	8	1 標本モデルにおける符号付順位に基づく	
確率変数	10	推測法	90
母関数	12	2標本モデルにおける順位推測法	92
基本離散型分布	14	多標本モデルにおける順位推測法	94
連続型確率分布	18	1標本モデルにおける M 統計量に基づく	
正規分布	22	推測法	96
極限定理	24	2標本モデルにおける M 統計量に基づく	
指数型分布族	26	推測法	98
無作為標本	30	多標本モデルにおける M 統計量に基づく	
標本分布各論 1	32	推測法	
標本分布各論 2	34	順位相関	
順序統計量	36	検出力と相対効率 1	104
		et t tende v v en trongvit - ventut t. D.	100
		分布探索による推測法の選択方式 1	ΙOΘ
		分布探索による推測法の選択方式」	106
2 推測理論		分布探索による推測法の選択方式」	106
2 推測理論		分布探索による推測法の選択方式 」 4 回帰分析	106
2 推測理論 検定の構造	40		106
	40 42	4 回帰分析 重回帰モデル 1	110
検定の構造		4 回帰分析	110
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定	42	4 回帰分析 重回帰モデル1 」 重回帰モデル2 」 ロジスティックモデル 」	110 112 114
検定の構造 ····································	42 44	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデル 1 一般化線形モデル 1	110 112 114
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 尤度比検定 漸近相対効率	42 44 46	4 回帰分析 重回帰モデル1 」 重回帰モデル2 」 ロジスティックモデル 」	110 112 114
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 尤度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題	42 44 46 48	4 回帰分析 重回帰モデル1	110 112 114 116
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 尤度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 逐次検定	42 44 46 48 50	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデル 1 一般化線形モデル 1 非線形回帰分析 1	110 112 114 116
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 尤度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 逐次検定 カイ2乗適合度検定	42 44 46 48 50 52	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデル 1 一般化線形モデル 1 非線形回帰分析 1	110 112 114 116
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 尤度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題	42 44 46 48 50 52 54	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデル 1 一般化線形モデル 1 非線形回帰分析 1	110 112 114 116
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 不傷・不変検定 尤度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 逐次検定 カイ2乗適合度検定 連続分布の適合度検定 ベイズ統計	42 44 46 48 50 52 54 56	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデル 1 一般化線形モデル 1 非線形回帰分析 1 層別逆回帰法 1	1110 1112 1114 1116 1124
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 尤度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 逐次検定 カイ2乗適合度検定 連続分布の適合度検定 ば失関数とリスク関数	42 44 46 48 50 52 54 56 58	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデルー般化線形モデル非線形回帰分析 1 非線形回帰分析 1 層別逆回帰法 1 5 多変量解析 I	1110 1112 1114 1116 1120
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 不偏・不変検定 ボ度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 逐次検定 カイ2乗適合度検定 連続分布の適合度検定 連続分布の適合度検定 ベイズ統計 損失関数とリスク関数 ベイズ方式とミニマックス性	42 44 46 48 50 52 54 56 58 60	4 回帰分析 重回帰モデル1 コラスティックモデルー般化線形モデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1110 1112 1114 1116 1120 1124
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 不偏・不変検定 ボ度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 逐次検定 カイ2乗適合度検定 連続分布の適合度検定 連続分布の適合度検定 ベイズ統計 損失関数とリスク関数 ベイズ方式とミニマックス性 許容性	42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 64	4 回帰分析 重回帰モデル1 」 重回帰モデル2 」 ロジスティックモデル 」 一般化線形モデル 」 非線形回帰分析 」 層別逆回帰法 」 5 多変量解析 I 多変量正規分布 楕円分布 」	1110 1112 1114 1120 1124
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 不傷・不変検定 ボ度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 が大検定 カイ2乗適合度検定 連続分布の適合度検定 ベイズ統計 損失関数とリスク関数 ベイズ方式とミニマックス性 許容性 推定について	42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 64 66	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデル 1 一般化線形モデル 1 非線形回帰分析 1 層別逆回帰法 1 5 多変量解析 I 3 多変量正規分布 1 楕円分布 1 ウィシャート分布 1	1110 1112 1114 1120 1124 1128 1130 1132
検定の構造	42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 64 66 70	4 回帰分析 重回帰モデル1 コラスティックモデルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110 112 114 116 120 124 128 130 132
検定の構造 最強力検定 不偏・不変検定 不傷・不変検定 ボ度比検定 漸近相対効率 ベーレンス・フィッシャー問題 が大検定 カイ2乗適合度検定 連続分布の適合度検定 ベイズ統計 損失関数とリスク関数 ベイズ方式とミニマックス性 許容性 推定について	42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 64 66 70 74	4 回帰分析 重回帰モデル1 1 重回帰モデル2 1 ロジスティックモデル 1 一般化線形モデル 1 非線形回帰分析 1 層別逆回帰法 1 5 多変量解析 I 3 多変量正規分布 1 楕円分布 1 ウィシャート分布 1	110 1112 1114 1116 1124 1136 1132 1134 1136

多変量分散分析 142	
主成分分析 1 146	7 実験計画法
主成分分析 2 148	
主成分分析 3 150	実験計画法総説 242
主成分分析 4 152	実験データの解析 244
因子分析 1 154	要因実験 1 246
因子分析 2 156	要因実験 2 248
因子分析 3 一回転 158	直交表による実験 1 250
正準相関分析 160	直交表による実験 2 252
線形判別分析 1 162	乱塊法 254
線形判別分析 2 164	特性値が計数値である場合 256
サポートベクターマシン 166	分割法
混合分布モデル 168	パラメータ設計 1 260
クラスター分析 1 170	パラメータ設計 2 262
クラスター分析 2 172	直交表の性質 264
クラスター分析 3 174	不完備ブロック計画 266
平均に関する検定 176	TOUR PROPERTY AND A P
共分散行列に関する検定問題 178	
多変量推定問題 1	8 漸近展開
多変量推定問題 2 182	
多变量精密分布	中心極限定理 270
ゾーナル多項式	漸近展開 272
固有値の分布	正規化変換
固有値・固有ベクトルの漸近分布 ······· 190	
	漸近相対効率 · · · · · · · 276
正規多変量線形モデルの変数選択 192	確率展開278
非正規性の下での多変量変数選択 194	ジャックナイフ法 280
その他の規準量での変数選択 196	カーネル法 282
次元縮小のための変量選択 198	変 換
	サドルポイント近似286
o n+ 7 TII 471F	
6 時系列解析	
	9 モデル選択
時系列: 時系列解析 202	
確率過程	モデル選択 290
定常過程 208	情報量規準 292
時空間過程 210	非線形回帰とモデル選択 294
自己相関 212	MDL 規準 ······ 296
スペクトル	
自己回帰移動平均 (ARMA) モデル ····· 216	
非定常な時系列218	10 推測論特論
ARIMA モデル 220	
トレンド:平均値関数 222	縮小推定 300
時系列の予測224	重み付きスコアに基づいたロバスト推定 302
多変量時系列解析 226	逐次解析 304
経済時系列解析 230	順序制約下の多変量推測理論 306
非線形時系列モデル 234	情報幾何
ウェーブレット解析 236	
	多変量 2 段階推測

11 多重比較	16 多変量解析 II
多重比較法概論 314	多変量逆回帰 398
ボンフェローニの方法とその拡張 316	グラフィカルモデリング 400
1 元配置における多重比較法 318	グラフィカル対数線形モデル 402
単純序制約下での多重比較320	独立成分分析 404
False Discovery Rate 322	多変量欠測值 406
ノンパラメトリック検定と頑健手法 324	多重比較 408
	方向データの解析 1 ······ 410
	方向データの解析 2 412
12 離散データ解析	構造方程式モデリング 414
2 元分割表 328	
3 元分割表	17 探索的データ解析
対数線形模型	
正方分割表の解析	確率プロット 420
正分为的农业,并不	射影追跡法
	一般化加法モデル ········ 424
13 極值統計	ACTUMINACY A
19 1至1000日	
極値分布	18 計算機統計学
一般化極値分布 340	
- 般化極値分布の応用 ·············· 342	乱 数
一般化パレート分布	モンテカルロ法 430
	リサンプリング法
定常過程の極値分布と推測 ······· 346 多変量極値分布 ····· 348	統計のための計算方法 ····································
	標本分布の近似計算 438
ポアソン点過程と閾値模型 350	(保本力 中の 近 以計 昇
	RBF (動径基底関数) ネットワーク ····· 442
14 欠測值	データマイニング
1- Wilt 1- 2 0 1 1 - 3 1 2 2 4	テキストマイニング 446 MCMC 450
欠測値とそのメカニズム	WCMC
EM アルゴリズム	
欠測值代入法 ······ 358	遺伝的アルゴリズム
傾向スコア 360	ファジィ理論
	グラフィカルユーザインターフェース … 460
*F 目 (I.	
15 数量化	10 VV n+ -> 6 47.1F
W. E. D deep	19 経時データ解析
数量化 1 類	AT III.
数量化 2 類	経時データ解析総説
数量化 3 類	プロファイル分析 470
数量化 4 類	混合分散分析モデル 472
数量化 1 類から 4 類以外の数量化法 1 … 374	成長曲線モデル ······ 474
数量化 1 類から 4 類以外の数量化法 2 … 378	拡張成長曲線モデル 476
対応分析 381	線形混合モデル ······ 478
多次元尺度法 1 386	成長モデルの選択 480
多次元尺度法 2 388	多変量経時モデル 482

x 目 次

離散経時データ484非線形経時モデル486	企業活動のデータと分析 558 住宅と土地のデータと分析 560 へ配って 7.00
	金融のデータと分析 562
20 京次二二 ASZIE	
20 高次元データ解析	94 级汶吽玄别
	24 経済時系列
高次元回帰	1041.T. は、11. サブルトパー へい
関数データ解析法 492	移動平均と時系列成分モデル 566
高次元検定	構造方程式と計量経済モデル ······ 568
高次元判別分析	GMM 推定法 ······ 570
高次元漸近展開498	ARIMA モデルと VAR モデルの利用 … 572
	グレンジャーの因果関係 574
	条件付分散変動モデル 576
21 空間データ解析	単位根問題 578
	共和分問題 580
クリギング	
空間スキャン統計量とエシェロン解析 … 504	
空間データ解析 506	25 計量経済・経営
空間判別 508	
	パネルデータと計量経済分析 584
	質的データのプロビットモデル,ロジット
22 ファイナンス統計	モデルによる分析 586
	マーケティングとベイズ法 590
派生証券 (デリバティブ) と裁定理論 512	
ブラック・ショールズの公式 514	
伊藤過程と伊藤の公式516	26 医学統計
ボラティリティ 518	THE RESIDENCE OF THE PROPERTY
ポートフォリオ分析 520	医学統計の概要594
VaR と統計的金融リスク管理 ······ 522	診断検査598
信用リスク指標と計測 524	同等性・非劣性検定600
金利と債券価格の変動 526	群逐次検定 602
保険リスク理論と損害保険 528	疾病の集積性の検定 604
生命表と生命保険・年金 530	リスクファクター分析 600
	Mantel-Haenszel 法 ····· 608
	共分散分析610
23 経済統計	年齢・時代・コホートモデル 61:
	メタアナリシス 61
ミクロ経済データ 534	
ミクロデータの統計的秘匿問題 536	
職業分類と産業分類 538	27 生存時間分析
季節性と季節調整法 540	SANDA SA
人口のデータと分析 542	生存時間分析序 61
産業連関のデータと分析 1 544	カプラン・マイヤー推定620
産業連関のデータと分析 2 546	ログランク検定 62:
GDP のデータと分析 548	比例ハザードモデル 62
物価のデータと分析 550	比例ハザードモデルの拡張 620
景気のデータと分析 552	再発事象データ 62
家計と消費のデータと分析	
雇用と賃金のデータと分析 556	
作用に貝並が / プロガ州 300	

目 次 xi

684 686 688
686 688
eor
งษเ
692
694
696
698
700
702
704
706
708
710
712
714 716
110
719
763
100